

こっこめ通信 03 2003

「冬から春への変わり目」号



八丈島ではアカコッコの事を親しみを込めて
「こっこめ」とよびます。

今年の島の2月は、上旬は寒かったものの中旬からはずいぶん暖くなり、季節の変わり目を感じさせる天候でした。ハチジョウクサイチゴやカジイチゴの花、アツバスミレの花もたくさん咲き始め、今年はいつよりも春が早そうです。3月21日から始まるフリーズ祭りの蕾も膨らみを増してきていますよ。

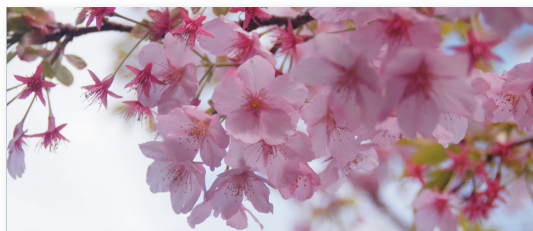
また、島の花粉症の原因のひとつでもある「ヘーノキ（オオバヤシャブシ）」の花粉も飛び始め、鼻がグジュグジュしている人も出始めています。花粉症の人には辛い季節の始まりでもあります。

さて今月は、寒い話題と春の話題、そして久しぶりに海の話と盛りだくさんです。

富士の初冠雪と桜の花



立春の2月4日、平年よりも11日遅く八丈富士が初冠雪しました。ビジターセンターの駐車場からもはっきりと富士の頂上付近に積もった雪を見ることが出来ました。1月30日には測候所内で、6年ぶりの結氷も観測され、1月の終わりから2月の初めまでかなりの寒気が南下したことがわかります。



園芸技術センターの周りでは、1月下旬から桜の花が咲き出し、春の匂いが感じられるようになってきました。この桜は、自生ではなく植えたものですが、3月になれば自生のオオシマザクラもポツポツと咲き出していきます。ソメイヨシノもありますが、こちらの咲き始めは東京よりも遅くなります。



「アカコッコ」とは日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物にも指定されています。
八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

深い海からの訪問者

2月2日、乙千代ヶ浜の潮だまりに変わった魚の死骸があったと「アミニスダイビング」の横川 智章さんがビジターセンターに持ってきてくれました。

この魚の体長は20mm程で、一瞬深海の魚では？と思える姿形をしていました。日本産魚類検索図鑑で調べたところ、ワニトカゲギス目ムネエソ科テンガンムネエソ属の仲間であることまでは分かりました。しかし詳しいことは分からないので、「神奈川県立生命の星・地球博物館」の瀬能 宏 博士に送り、いろいろと調べていただきました。

瀬能博士の話によると「臀鰭軟条間や尾柄下部発光器の下縁に棘状突起が見あたらないため、これを重視すれば当然テオノエソに同定されるわけですが、両種とも体長6cmくらいにはなるようなので、今回のように稚魚となると、果たしてこれだけで決めてよいものかどうか迷うところです。現時点ではトガリムネエソの稚魚の可能性をにらみつつ、とりあえずテオノエソに同定しておきます。」ということでした。

これらの魚は、「中深層遊泳性なので、生息場所は光がぎりぎり届く所よりも少し下層の水深200m付近から下と思われる」

また、「体には多くの発光器があり、それらは仲間とのコミュニケーションに使っているのではないか？」というお答えもいただきました。

今回の出現は「湧昇流によって海面付近に吹き上げられたのではないか。冬場は表層の水温が下がるので、海の中には表層と低層の水が入れ替わる大循環が起りやすい。また、深い海底からいきなり立ち上がるような島の場合は深層の海流が島にぶつかって壁をはい上がるような湧昇流が起りやすい。」、このようなことから海面に上がり、波によって潮だまりのような場所に入り込んだようです。

私たちの知らないところには、まだまだいろいろな生き物が棲んでいるんですね。

テオノエソかトガリムネエソと思われる魚



今が旬の貝を持ったウミウシ



ベニシボリガイ



ベニヤカタガイ

春になると、貝殻を持ったきれいなウミウシをあちこちで目にする事が出来ます。

他の地域では珍しい種類が、八丈島では普通に見られるものもあります。これらのウミウシは貝殻よりも軟体部分がとても綺麗で、「美しさ」を感じるほどです。

乙千代ヶ浜の潮だまりや八重根の検潮所下などの比較的浅い場所でも見られるのでぜひ探しに行ってみてください。



ミスガイ



コンシボリガイ

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。

前回は2月9日に観察会を行いました。下の表が調査記録です。

八丈植物公園季節調査（平成14年第2回）

平成15年2月9日（日） 13時30分～15時

参加者・菊池（昭）、菊池、青柳、金田、伊藤、奥山、村上、安彦、伊勢崎、V.C. 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草 本			木 本		
1	スギナ	ツクシ出始め	1	オオムラサキシキブ	冬芽
2	アツバスミレ	花	2	アカメガシワ	冬芽
3	ツワブキ	種	3	ヤツデ	実
4	オオシマカンスゲ	花	4	エノキ	冬芽
5	タネツケバナ	花	5	シマクサギ	冬芽
6	ハコベ	花	6	シチトウタラノキ	冬芽
7	スズメノカタビラ	花	7	ハチジョウキブシ	固い蕾
8	フウトウカズラ	熟した実	8	ガクアジサイ	種とふくらんだ冬芽
9	オオイヌノフグリ	花	9	ヤブツバキ	花
10	カタバミ	花	10	オオシマザクラ	冬芽
11	ノゲシ	花	11	マンリョウ	熟した実
12	フキ	フキノトウ	12	イヌビワ	実
13	ハキダメギク	花	13	ハゼノキ	紅葉
14	セイヨウタンポポ	花	14	マサキ	熟した実
15	ウスベニニガナ	花	15	タイミンタチバナ	新葉
16	ツルソバ	花	16	タブノキ	ふくらんだ冬芽
17	オニタビラコ	花	17	カジイチゴ	花
18	コセンダングサ	花と種	18	ハチジョウクサイチゴ	花
19	シロバナセンダングサ	花と種	19	メダケ	花
			20	ヤマモモ	蕾
			21	モチノキ	満開
			22	ヒサカキ	蕾
			今回は樹木の冬芽を中心に41種を観察しました。		

※ビジターセンターでは八丈植物公園の季節変化の公開調査を月1回程度行なっています。

興味のある人は窓口でお問い合わせください。

植物の名前をこれから覚えたいと思っている人など大歓迎。次回調査は3月9日（日）です。

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。

今回は、これから咲き始める「オオシマザクラ」にスポットを当ててみたいと思います。



オオシマザクラ *Prunus speciosa*

バラ科の落葉高木。伊豆諸島や房総半島にはえ、他にも広く栽植されています。花は白く、葉と共に開いてしまうため、満開になっても少し寂しいです。花の咲く時期に、山がポツリポツリとこの桜で白くなります。

ソメイヨシノはこのオオシマザクラとエドヒガンの雑種1代と言われています。

2003 八丈ビジターセンター 3 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時間は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時間です。
左側が満潮時間、右側が干潮時間です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
30 ガイドウォーク 04:39 10:25 15:57 22:21	31 04:58 10:48 16:36 22:51		 この色の日は 特別行事があります			1 ガイドウォーク 05:21 10:47 15:58 22:44
2 ガイドウォーク 05:43 11:12 16:10 23:16	● 3 06:03 11:38 17:17 23:46	4 06:22 12:03 17:52	5 06:40 00:13 18:27 12:30	啓蟄 6 06:57 00:39 19:01 12:58	7 07:15 01:04 19:38 13:28	8 ガイドウォーク 07:34 01:28 20:17 14:01
9 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会 07:52 01:51 21:03 14:38	10 08:09 02:12 22:11 15:24	○ 11 08:24 02:27 16:31	12 08:34 18:08	13 04:26 19:42	14 04:06 09:42 13:30 20:47	15 ガイドウォーク 04:23 09:57 14:46 21:36
16 ガイドウォーク 04:45 10:20 15:40 22:19	17 05:09 10:48 16:28 22:58	○ 18 05:33 11:19 17:15 23:36	19 05:58 11:52 18:01	20 06:22 00:12 18:49 12:27	春分 21 ガイドウォーク 06:46 00:46 19:38 13:04	22 ガイドウォーク 八丈学講座 「田んぼの 雑草観察会」 07:08 01:18 20:32 13:44
23 ガイドウォーク 春の特別行事 「植物公園で お花見」 07:30 01:54 21:38 14:29	24 07:50 02:15 23:26 15:23	● 25 08:09 02:39 16:41	26 08:12 18:31	27 03:38 20:05	28 03:58 09:45 14:06 21:04	29 04:19 10:04 15:11 21:46

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
3/9（13:30～ 約1時間半）
中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

八丈学講座

「田んぼの雑草観察会」

毎月行っている八丈学講座。今回は、鴨川周辺の田んぼの畦道で植物観察会です。
3/22（13:30～ 約1時間半）
中学生以上 ホタル水路集合・解散 参加費：100円（保険代込） 定員：15名

春の特別行事

「植物公園でお花見」

植物公園内のサクラでお花見です。今年はちゃんと咲いてくれるでしょうか？
3/23（13:30～ 約1時間半）
だれでも ビジターセンター集合・解散 参加費：200円（軽食代込） 定員：15名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち

11:00～ 八丈・四季・人・自然

14:00～ 八丈・四季・人・自然

15:00～ 八丈・四季・人・自然

16:00～ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2003.3.1 第22号

開館時間 9:00～16:30 年中無休（入場無料）

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

（ホームページでは「こっこめ通信」をカラーで見ることができます）

編集後記

今回紹介した貝殻を持ったウミウシたちはいつもは砂の中に潜っています。探す場合は少し手で砂を避ける必要があります。あまりやりすぎるとかわいそうなのでほどほどに！（高）